

## 第10回 都子さんメモリアル

# 愛とヒューマンのコンサート

2010年10月17日(日) 13:30 ~ 15:30 新川文化ホール

主催：都子さんメモリアル 愛とヒューマンのコンサート実行委員会

後援：富山県、魚津市、魚津市教育委員会、森のゆめ市民大学、都子基金

### プログラム

#### ~~~~~ 第1部 ~~~~~

混声合唱

合唱団「SATOKO」  
指揮 川崎祥悦      ピアノ 美蔭真澄

若ものたちは	清水凡平 作詞	川崎祥悦 作曲
山のいぶき	松前幸子 作詞	川崎祥悦 作曲
あなたの心に	坂本(大山)都子 作詞	川崎祥悦 作曲
親と子の童謡メドレー		川崎祥悦 編曲
靴が鳴る	清水かつら 作詞	弘田龍太郎 作曲
里の秋	斉藤信夫 作詞 海沼実 作曲	平吉毅州 編曲
汽車ポッポ	富原薫 作詞	草川信 作曲
みかんの花咲く丘	加藤省吾 作詞	海沼実 作曲

#### ~~~~~ 第2部 ~~~~~

ヴァイオリン&フルート&ピアノ

松本克巳 真鍋恵子 中島彩

微笑む三つの薔薇によせて

川崎絵都夫 作曲

ピアノ

中島彩

プレリュード op 28-16 子守唄 op 57 英雄ポロネーズ

ショパン 作曲

フルート&ピアノ

真鍋恵子 中島彩

精霊の踊り

グルック 作曲

ヴァイオリン&ピアノ

松本克巳 中島彩

夢のあとに

フォーレ 作曲

母の教え賜いし歌

ドヴォルザーク 作曲

ヴァイオリン&フルート&ピアノ

松本克巳 真鍋恵子 中島彩

音楽の捧げもの

バッハ 作曲

# 曲によせる思い

松本克己

## 微笑む三つの薔薇によせて 川崎絵都夫

悲しんでばかりられない、あの世とこの世でともに生きているんだ、との思いで後から出来た追悼曲です。今回はこの中に初めの追悼曲、愛と哀しみのソナタの2楽章、怒り～鎮魂を挿入いたしました。

## ショパンの3曲

プレリュード 元気に雷鳴の中に生まれた龍彦君に

子守唄 龍彦君を抱きながら子守唄を歌う都子さんに

英雄ポロネーズ 社会正義、人権、平和への志高く、生き抜いた堤さんに、

それぞれの姿に重ねました。 同時代に生きた作曲家、ピアニストのリストはポロネーズについて「あらゆる不正に勇敢に立ち向かう人間の確固たる足音」と評しています。

## 精霊の踊り グルック

歌劇オルフェウスで奏でられるフルートの名曲です。都子さんの姿に重ねてアヴェマリアとともに奏で続けている曲です。

## 夢のあとに フォーレ

次のような詩のソプラノの歌曲です。

夢の中にあなたの美しい姿があった、私の幸福の夢、燃え上がる幻影。

あなたの瞳はとても優しく、声は澄んで響いた、

あなたは輝いていた 暁に照らされた空のように あなたは私を呼び 私は地上を離れた

二人して光の彼方に逃れるために

空は私たちのために天空の扉を開き、見たこともない麗しさ 神からの微かな光が見えた

ああ、ああ、 なんと悲しき目覚め、私は呼ぶ、 おお夜よ、あの人をの幻影を私に返して、

もう一度、もう一度輝かせておくれ、もう一度、 おお謎に包まれた夜よ！

## 母の教え賜いし歌 ドヴォルザーク

次のような詩のジプシーの歌曲です。

昔、年老いた母が私に歌を覚えてくれた その歌をうたう母の目には、大粒の涙があふれていた

今、私も歳を経て、自分の子供に同じ歌を教えている

あの時の母と同じように、目に大粒の涙を浮かべながら…

## 音楽の捧げもの バッハ

バッハ晩年の傑作といわれる作品です。10回を迎える都子さんコンサートの最後の曲にふさわしいと思い選曲いたしました。

お知らせ

「あなたの心に」のCDと楽譜をロビーで販売しています。

CDは¥1,000円、楽譜は¥200です。お問い合わせは「都子基金」と「愛とヒューマンのコンサート委員会」まで。

CD：第8回コンサートの合唱曲（「あなたの心に」をはじめ川崎祥悦先生の作品5曲）を収録。

楽譜：譜面だけでなく、さまざまな資料が掲載されています。

都子基金

〒336-0025 さいたま市南区文蔵 4-23-3-408 へんみとくえ 逸見登久恵方 電話 080-3157-8840

愛とヒューマンのコンサート委員会

〒350-0234 埼玉県坂戸市緑町 7-12 いまのつよし 今野強方 電話 049-281-3644 FAX 049-289-2852

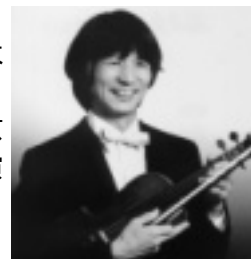
《都子基金》 民事裁判の結果オウムの破産管財人から、都子さんのご両親に支払われた分配金によって、設立された団体です。宇都宮健児・川人博の両弁護士を顧問として、都子さんの友人達によって、堤さん、都子さん夫妻が願っていたことの実現のための活動を続けています。

《愛とヒューマンのコンサート委員会》 故坂本弁護士夫妻の願いを音楽で伝える活動をしています。各地での、愛と平和、障害者支援、震災被災地支援、「つながって生きよう！派遣切りを許さない」などのコンサートの企画や開催を市民の皆さんとともに重ねています。

# 演奏者のプロフィール

松本克巳（まつもと かつみ） ヴァイオリン

日本フィルハーモニー交響楽団第一ヴァイオリン奏者。1953年、山口県宇部市生まれ。関西学院大学理学部を卒業後、高校の生物教師を経て1980年日フィルに入団。当時東大在学中の坂本堤さんや結婚前の都子さんと出会い、意気投合する。坂本弁護士事件以降、一家の救出および追悼のための演奏を続けている。2000年以降、カザルスホールや東京文化会館でリサイタルを開催。コンサートホールだけに留まらない視野の広い丹念な演奏活動は高く評価されている。



中島彩（なかしま あや） ピアノ

東京生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、2002年、同大学を首席で卒業。同年秋、財団法人ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生として渡独し、平成15年度文化庁新進芸術家海外派遣研修生となる。2004年6月、ミュンヘン国立音楽大学大学院を卒業し、ドイツ各地で演奏会を行う。その後スイス、フランスにて研鑽を積む。フランスでは室内楽コンサート多数。1998年イタリア、ベッリーニ国際音楽コンクールピアノ部門第2位。2007年フランス、リヨン国際室内楽音楽コンクールにてヴァイオリンとのデュオで第3位、併せてバークリ賞を受賞する。



真鍋恵子（まなべ けいこ） フルート

香川県丸亀市出身。1998年、東京藝術大学を卒業のち2001年、東京藝術大学大学院を卒業。コンクールに積極的に参加し、第6回びわ湖国際フルートコンクール第1位を受賞、第11回日本木管コンクール第2位、第20回日本管打楽器コンクール第1位を受賞。2007年より日フィルに入団し活躍するほか、洗足学園音楽大学、東京藝術大学管弦学研究部などで講師として後進の指導にあたる。



合唱団「SATOKO」

都子さんの詩をもとに、2004年に作曲家川崎祥悦氏によって作曲された混声合唱曲「あなたの心に」を歌うため、「第4回都子さんメモリアルコンサート」以降、毎年市民有志が集まり、合唱団「SATOKO」を結成している。今年はいじめて子どもたちが参加する。

## 坂本(旧姓 大山)都子(さとこ)さん 略歴

都子基金の資料より作製しました

- 1960年 2月24日 茨城県那珂郡大宮町に生まれる
- 1964年 7月 茨城県勝田市（現ひたちなか市）へ転居
- 1972年 4月 勝田市立第一中学校に入学  
クラブ活動はブラスバンド部に入学
- 1975年 4月 茨城県立水戸第二高等学校入学  
青少年赤十字奉仕団（JRC）の活動に参加。  
勝田ファミリーの設立にかかわる。  
（勝田市出身の高校生達のボランティアサークル）
- 1978年 4月 立教大学社会学部社会学科入学
- 1979年 車イスの方の介助ボランティアを始める  
同年 8月 全国車イス市民集会の事務局員として活動  
ボランティアとして参加した坂本堤さんと知り合う
- 1980年 3月 念願だったインド旅行を実現  
同年 8月 テレビ朝日福祉文化事業団主催のサマーキャンプにボランティアとして参加  
（1983年まで毎年参加）
- 1982年 3月 立教大学社会学部社会学科卒業  
同年 4月 法律事務所に事務員として勤務
- 1983年 秋 中国からの帰国者を支える会の活動に参加  
ボランティアで、帰国者の子女の家庭教師を始める
- 1984年 3月4日 坂本堤さんと結婚  
同年 4月 宇都宮法律事務所（現東京市民法律事務所）に勤務
- 1988年 8月25日 長男 龍彦ちゃんを出産
- 1989年 11月4日 未明、オウム真理教幹部により殺害される

中学3年生の時、茨城県で開催された身障者スポーツ大会にブラスバンド部員として参加し、障害があっても明るくひたむきにプレーする選手たちに触れ感動する。

1985年、豊田商事事件。中坊公平さんらの被害者救済活動に事務局員として加わり活躍する。

## 第10回の記念によせて

### ～ 便箋8枚の手紙に思いをこめて ～

私が新川時論編集部に「没後10年の追悼コンサートができないでしょうか？」という便箋8枚の手紙を書いて差し出しました。早速「一度お会いしてお話をお聞きしたい」とのご返事をいただき、心躍る思いで魚津に駆けつけたのが昨日のこのことです。

魚津でのコンサートの実現が大きな力となって、龍彦君の大明、堤さんの名立でのコンサートが実現しその後も続いております。本当に感謝に耐えません。坂本一家が目指した正義、人権、平和への希求はますますその重さを深めています。音楽によるそれらの輝きの中、大正デモクラシーへ道を拓いた、魚津のみなさんに愛され続けている都子さんの、堤さん、龍彦君の笑顔が浮かびます。



2008年9月8日、片貝公民館での「訪問コンサート」にて子どもたちに熱く語りかける今野さん

愛とヒューマンのコンサート委員会 いまのつよし 今野 強

### ～ 熱い心で弾き続ける ～

愛とヒューマンのコンサートの発信人として、坂本の友人として、一音楽家として魚津の皆様への感謝の思いを深くしています。

私は今年日本フィル入団30年です。苦難のオーケストラを救いたい思いで、東大在学中の坂本堤が日本フィルをたびたび訪れていました。そこで彼と知り合ったのです。坂本との付き合いは事件発生後、結末後の方がはるかに長くなりました。

20年を超えても坂本一家を知ってくださり、愛して下さる方々が居られるのはとてもうれしいことです。自らの思いを私に奏でる場を作り続けて下さっている魚津の皆さんに、堤と都子さんがどれほど感謝しているかを思うに胸が熱くなります。



2009年9月7日 慰霊碑の前で演奏する松本さん

日本フィルハーモニー交響楽団  
まつもとかつみ  
第一ヴァイオリン 松本 克巳

## 心を結ぶメッセージ

### ～ ずっと引き継いでいってほしい ～

実行委員会みなさんの温かく人間愛に満ちたお心に支えられて「愛とヒューマンのコンサート」が10回目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

同時に核兵器廃絶・世界平和の確立を願うことと同じくらい意義のあるこのコンサートは、未来永劫にわたって私達ひとりひとりの強い意志と努力によって引き継がれていくべきもの、と思っております。

ご縁があって都子さんの詩「あなたの心に」を合唱曲として作曲させていただいたことは、わたしにとっても、もしかすると、このことのために音楽という仕事に携わってきたのかな、と思わされるような出来事でした。都子さんは決して大げさに、また声高に主張なさるお気持ちではなかったかも知れませんが、これからも深く静かにそしていつまでも、都子さんの思いを広げていかねば、と改めて心に期しております。

「合唱団SATOKO」のみなさんの、これまでのご熱意と温かいお心に深い敬意と感謝の念を捧げ、コンサートのご盛会をお祈り申し上げます。

「あなたの心に」の作曲者 かわさきしょうえつ 川崎 祥悦

### ～ まるでわが娘のように ～

魚津の皆様 こんにちは

10回目のコンサート開催おめでとうございます。都子さんを、まるで魚津の娘のように、僧ヶ岳の山の娘のように、大切に下さって、本当に有難うございます。

僧ヶ岳にかかった虹のような詩、「赤い毛糸にだいだいの毛糸を結びたい」都子さんの言葉が、魚津の皆様のコンサート活動から合唱曲になって生まれました。悲しい知らせを聞いた最初の頃には、予想もつかなかった素晴らしい成果です。本当に有難うございます。都子基金はこの歌と、バイオリンを奏で続けて下さった松本克巳さんの演奏曲を、昨年楽譜にしました。堤さん都子さんの高いところざしと、二人の素晴らしいお人柄が、時間を越えて多くの方々に届いて欲しいからです。今日も、会場のお一人お一人が、心優しい都子さんとの新しい出会いを楽しんで下さいますように。心より演奏会のご成功をお祈り致します

へんみとくえ  
都子さんの大学時代の同級生 < 都子基金 > 逸見 登久恵

04年10月、慰霊碑の前で「あなたの心に」を歌う  
右端が今野強さん、2人目が川崎祥悦さん、4人目  
が逸見登久恵さん、5人目が松本克巳さん、左端が  
大山友之さん



# 「あなたの心に」

作詞 坂本(旧姓大山)都子  
作曲 川崎祥悦

赤い毛糸に

だいだいの毛糸を 結びたい

だいだいの毛糸に

レモン色の毛糸を 結びたい

レモン色の毛糸に

空色の毛糸も 結びたい

青い空と

深い緑の森を 結びたい

結びたいんだ

このまちに生きる

ひとりひとりを

結びたいんだ

私の思いを

あなたの心に

のフレーズは作曲上の視点から略させていただきました(川崎)

僧ヶ岳の慰霊碑に刻まれている詩では、「青い空、深い緑」の部分が省略されています。「周囲の風景と余りにもぴったり一致して、見るたびに切なくなる」との御両親の意向によります。



合唱曲「あなたの心に」は第4回のメモリアルコンサートで初演されました。川崎祥悦先生が都子さんの詩に深い共感をもって作曲され、会場に駆けつけて指揮をとられました。

都子さんは、大学に入学した年の夏、過疎地でのワークキャンプに参加しました。その後、仲間たちとの絆を強めることを願って書かれたのが「赤い毛糸に」の詩です。

人それぞれの思い、人それぞれの生き方を尊重しあうことで人間の社会が成り立っている。人と人が心を通わせ手を結んでいくことなしには社会は変わらない。そんな都子さんの生き方を象徴的にあらわす言葉として「赤い毛糸」の詩が慰霊碑に刻まれました。

第8回コンサートで指揮する川崎先生



【作曲家の紹介】 川崎 祥悦(かわさき しょうえつ)

1932年、青森県生まれ。1955年、東京芸術大学作曲科卒業。作曲およびピアノの演奏活動をつづけながら、1960年からは教科書の編集にたずさわる。音楽教育を天職と思い定め、その充実と発展に力を注ぐ。合唱曲「山のいぶき」「思い出は空に」をはじめ、市歌、校歌など数多くの作品で知られる。2004年、都子さんの詩をもとに「あなたの心に」を作曲。なお、追悼曲を作曲した川崎絵都夫氏はご子息である。

# メモリアルコンサート はじまりの頃

## 新川時論21

もう記憶の彼方に去っているかもしれませんが、1996年から、2001年まで、1号から21号まで発行された季刊誌がありました。そして第9号から連載されたのが大山夫妻の筆になる「対オウム民事裁判の記録」です。大山さんを紹介したのが、時論読者の鳥切春雄氏（千葉県在住の弁護士）です。当時、弁護士会は「坂本事件の真相を追究する会」を組織しており、鳥切氏は会の活動の一環として大山さんを紹介しました。

## 日本フィルハーモニー協会

大山さんの連載が始まるやいなや、埼玉県坂戸市から「坂本弁護士一家追悼ヒューマンコンサート実行委員会事務局長」今野強氏から長い手紙が届けられました。魚津市で追悼コンサートを実施しないかという呼びかけでした。坂本弁護士夫妻は生前からヴァイオリン・フルート演奏に親しみ、自主運営で市民音楽運動を進めている日本フィル交響楽団のサポーター組織の「協会」メンバーでした。その関係からヴァイオリニストの松本克巳氏や作曲家の川崎絵都夫氏、今野氏らとつながりがありました。



1999年8月19日 農村環境改善センターでのコンサート

## 片貝地区の住民パワー

「坂本弁護士一家追悼 ヒューマンコンサート in UOZU」は市民を中心にした実行委員会が実施しましたが、その中心になったのは片貝地区の住民でした。実行委員長・澤崎義敬氏を中心に地区のあらゆる組織が動員されました。慰霊碑に私有地を提供しただけでなく、整地や除草まで奉仕される山本清作さんに象徴される地域住民の「温かさ」がその後のコンサートの成功を支えていると思われます。

## 「虹」になった都子さん



1999年8月18日慰霊碑の前で。ヴァイオリンは松本克巳さん、フルートは大平記子（おおだいら・のりこ）さん。このとき僧ヶ岳に虹がかかった。

第1回コンサートの前日、大山夫妻と演奏者が慰霊碑に向かおうとした時、それまでの晴れが一変、雷鳴がとどろいて、豪雨となり、瞬時にして晴れ上がって、直後壮大な丸い二重の虹がかかった。そのとき大山やいさんが「都子が呼んでいる!!」と叫ばれたことを関係者一同忘れることは出来ません。慰霊碑には人と人の結びつきを虹に託した詩が刻まれています。この不思議な一致は強烈な印象を与え、以後、虹はメモリアルコンサートのシンボルになりました。やがて合唱曲「あなたの心に」へとつながっていきます。

はまだみのる  
実行委員会 濱田 實



# 合唱曲「あなたの心に」を歌い継ぐ



「都子さんの詩にメロディがついたら、歌えるのになあ、といったら、川崎祥悦先生が曲をつくろうかといっておられる」...同じ合唱団の濱田敏明さんが、興奮しながら私に電話をかけてきたのは、2004年の8月。あの大先生が作曲して下さる！という驚きと、短期間に合唱を仕上げることができるのか、という心配が頭の中で交錯しましたが、このチャンスをのがしたら後悔するという思いで引き受けました。

なんとかメンバーを確保して「合唱団SATOKO」が誕生。宮本則子さんのピアノ、川崎先生の指揮により新川学びの森交流館で「あなたの心に」が演奏されました。

やがて、都子さんについて調べはじめました。障害者や困っている人に対する深い共感と愛情。自らボランティア団体を立ち上げる行動力。すべての人が幸せに暮らせる社会を創るにはどうしたらよいか真剣に考え、行動した都子さん。なんと素晴らしい女性だったのか。都子さんの思いを、そして生きた証を伝えることが使命だと思ふようになりました。

それは、崩壊が叫ばれている家族の絆、地域の絆を取り戻すことに他ならない。次世代につながる活動になればと思っています。

ふるかわとしこ  
実行委員会 古川 敏子

## メモリアルコンサート略史

- 1989.11.04 事件発生 まどこ 都子さん29歳、つづみ 堤さん33歳、たつひこ 龍彦ちゃん1歳2ヶ月
- 1995.09.07 遺体収容
- 1997.09.07 慰霊碑除幕
- 1999.08.19 第1回メモリアルコンサート（農村環境改善センター）  
「坂本弁護士一家追悼ヒューマンコンサート in UOZU」
- 2002.08.24 第2回メモリアルコンサート（片貝小学校）  
「都子さんメモリアル・魚津 "星ふる夜"のコンサート」
- 2003.08.20 第3回メモリアルコンサート（天神山交流館桜ホール）  
「都子さんメモリアル・森のゆめコンサート」
- 2004.10.30 訪問コンサート（障害者交流センター・片貝小学校）
- 2004.10.31 第4回メモリアルコンサート（天神山交流館桜ホール）  
「都子さんメモリアル・愛とヒューマンのコンサート」  
合唱曲「あなたの心に」初演
- 2005.08.20 訪問コンサート（障害者交流センター・労災病院）
- 2005.08.21 第5回メモリアルコンサート（新川文化ホール・小ホール）
- 2006.06.06 訪問コンサート（片貝高齢者ふれあいの家・障害者交流センター・図書館）
- 2006.11.04 第6回メモリアルコンサート（新川文化ホール・小ホール）
- 2007.07.22 第7回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
- 2007.07.23 訪問コンサート（片貝公民館・障害者交流センター）
- 2008.09.07 第8回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
- 2008.09.08 訪問コンサート（片貝公民館・障害者交流センター）
- 2009.09.06 第9回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）
- 2009.09.07 訪問コンサート（片貝公民館・障害者交流センター）
- 2010.10.17 第10回メモリアルコンサート（新川文化ホール・大ホール）



慰霊碑のレリーフに刻まれた家族の肖像